PTO 18 MAY 2005

条 約.1

PCT

国際予備審查報告

REC'D 0 3 JUN 2004 PCT WIPO

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 A31704M	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/416)を参照すること。					
国際出願番号 PCT/JP03/14709	国際出顧日 (日.月.年) 19.11.2003 (日.月.年) 19.11.2002					
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' A61K31/05, 31/6615, 33/14, 35/78, 38/46, 31/194, 38/48, 38/51, A61P1/02 // A61K7/16						
出願人 (氏名又は名称) 昭和薬品化工株	式会社					
	国際予備審査報告を法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。 ほを含めて全部で4 ページからなる。					
この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。 (PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照) この附属書類は、全部で ページである。						
3. この国際予備審査報告は、次の内容	きを含む。					
I × 国際予備審査報告の基礎						
Ⅱ □ 優先権						
III × 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成						
IV 発明の単一性の欠如	·					
V ▼ PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 VI ■ ある種の引用文献						
vi						
VII 国際出願に対する意見						
国際予備審査の請求書を受理した日 19.11.2003	国際予備審査報告を作成した日 11.05.2004					
名称及びあて先 日本国特許庁(IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区酸が関三丁目4番	特許庁審査官(権限のある職員) 4B 8615 内藤 伸一					

電話番号 03-3581-1101 内線

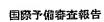
3448



国際予備審查報告

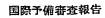
国際出願番号 PCT/JP03/14709

I. 国際予備審査報告の基礎							
1. この国際予備報 応答するために PCT規則70.	上提出された差し替え用紙は、	ういて作成され この報告書には	れた。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に おいて「出願時」とし、本報告書には添付しない。				
× 出願時の国際	张出顧書類						
□ 明細啓 明細啓 明細啓	第 第 第	_ページ、 _ ページ、 _ ページ、 _ ページ、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求뿁と共に提出されたもの 付の魯簡と共に提出されたもの				
語求の範囲 請求の範囲 請求の範囲	第 第 第		出願時に提出されたもの PCT19条の規定に基づき補正されたもの 国際予備審査の請求費と共に提出されたもの				
請求の範囲 図面 図面 図面	第	項、 ページ/図、 ページ/図、 ページ/図、	一 付の書簡と共に提出されたもの 出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求むと共に提出されたもの 付の書簡と共に提出されたもの				
明細書の配列	列表の部分 第 列表の部分 第 列表の部分 第	_ _ ページ、 _ ページ、 _ ページ、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求寄と共に提出されたもの 付の啓簡と共に提出されたもの				
2. 上記の出願書類	頁の言語は、下記に示す場合を	と除くほか、こ	の国際出願の官語である。				
上記の啓類は、下記の官語である 語である。 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の官語 PCT規則48.3(b)にいう国際公開の官語 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の官語							
3. この国際出願	は、ヌクレオチド又はアミノ 酢	竣配列を含んで	おり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。				
□ この国際出願に含まれる書面による配列表 □ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表 □ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表 □ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表 □ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった □ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。							
4. 補正により、 明細告 請求の範囲 図面	下記の 書類が削除された。 第 第 図面の第	 項	ジ/図				
5. この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1.における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)							



国際出願番号 PCT/JP03/14709

Ⅲ. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
1. 次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により 審査しない。
国際出願全体
※ 請求の範囲
理由:
× この国際出願又は請求の範囲 11,12 は、国際予備審査をすることを要しない 次の事項を内容としている(具体的に記載すること)。
請求の範囲11,12の発明は、治療による人体の処置方法に関するものである。
明細書、請求の範囲若しくは図面(次に示す部分)又は請求の範囲の 記載が、不明確であるため、見解を示すことができない(具体的に記載すること)。
·
全部の請求の範囲又は請求の範囲 裏付けを欠くため、見解を示すことができない。
× 請求の範囲 1 1, 1 2
2. ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表が実施細則の附属書C(塩基配列又はアミノ酸配列を含む明細書等の作成のための ガイドライン)に定める基準を満たしていないので、有効な国際予備審査をすることができない。
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
○ 磁気ディスクによる配列表が提出されていない又は所定の基準を満たしていない。



国際出願番号 PCT/JP03/14709

V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性に 文献及び説明	こついての法第12条((PCT35条(2)) に定める見解、 	それを裏付ける
1. 見解		·	
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1-10, 13	有 無
進歩性(IS)	. 請求の範囲 請求の範囲	2, 3 1, 4-10, 13	有 無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-10, 13	有 無
2) JP 9-1 3) JP 9-2 4) WO 01/	2-20255 10687 A 95942 A 72144 A		
	2-47196 17447 A の発明は、国際 pH2.5~5	A 調査報告で引用された文 を有する液体義歯洗浄剤	献1によりが記載され
ための酸として酒石酸、クエン酸れている。 してみると、これらの酸を歯に	g、リンコ酸、リ C付着した歯石の	除去に転用してみること	とも記載さは当業者が
容易になし得たことといえる。 請求の範囲2,3の発明は、国 もされておらず、新規性及び進歩	国際調査報告で引 5性を有する。	用された文献1-6には	記載も示唆